

令和 7 年 2 月定例教育委員会 会議録（概要版）

開催年月日	令和 7 年 2 月 26 日（水）	場 所	教育委員会室
開催時間	13 時 00 分 ～ 14 時 30 分		
出席者	教 育 長	今村 卓也	
	教育委員	垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美	
	事務局	堀田教育部長、大平教育総務課長、若杉学校教育課長、星野スポーツ・文化振興課長、鍋島生涯学習課長、海野図書館長、児玉学校給食センター所長、三窪教育総務課総務企画係長、兼光教育総務課総務企画係主事	

1 開会 （13 時 00 分）

2 前回の会議録承認

教育長から、1 月の定例教育委員会の会議録の承認について諮り、指摘部分を修正することで承認された。

3 報告

（1）教育長報告

1/24 定例記者会見

スポーツ協会・スポーツ少年団合同新年会

子どもの夢実現サポート事業発表会

1/25 HOSOSHIMA まちづくり協議会新年会

1/29 陣軍陽先生書の寄贈式

1/30～31 1 月臨時市議会（総合計画等）

2/2 お倉ヶ浜新野球場竣工式及び中学生等記念試合

舞踊連盟祭

華道連盟作品展

北方領土県民集会開会行事

2/4 宮崎大学訪問・協議

2/10 舞踊連盟来訪

2/11 美々津立磐神社建国祭・祝賀会

2/12 細島小学校 SPS 認証式（文科省他）
2/13 スポーツ推進委員石川晴子氏文部科学大臣表彰市長表敬訪問
2/14 県教育委員会令和7年度新規事業説明会
2/15 宮崎県総合美術展視察（日向市教育長賞工芸「アフリカの闇」）
2/16 お倉ヶ浜新野球場こけら落とし記念試合 楽天 VS ヤクルト
2/18 東郷総合支所移転セレモニー
2/19 防災ハンドブック贈呈式（児玉氏）
2/20 総合体育館安全祈願祭・起工式
2/21 通学区域審議会
2/23 不登校シンポジウム（主催 宮崎こども未来ネットワーク）
2/26 定例教育委員会
総合教育会議
大王谷ファイターズ全国大会出場市長表敬訪問

（2）教育委員報告

【黒木委員】

1/30 第29回若山牧水賞授賞式に出席。はじめに坪谷小学校のみなさんによる牧水の歌の斉唱があった。大勢の前でも堂々と歌い上げる姿と少人数でも響きのある美しい歌声に毎度のことながら、とても感激した。児童数の減少で今後のことが少し頭をよぎったが、何らかの形でこの牧水の歌を今後も歌い継いでいくことができるといいなと思った。その後のトークイベントでは、受賞された大辻隆弘氏と高山邦男氏の貴重なお話を聞くことができた。大辻氏は文語を巧みに使い、情景が鮮明に思い浮かぶような繊細な短歌を詠んでいた。高山氏は、母の介護の日々を辛さではなく、喜びや優しい眼差しとともに詠んでいて、お二人それぞれの素敵な人柄が伝わってくるようなトークイベントだった。その後の祝賀会では、久永草太さんをはじめ、牧水・短歌甲子園を機に活躍されている若い世代の方々のお話も聞くことができ、幅広い世代に愛されている若山牧水先生の存在の大きさを改めて感じた。今年は、若山牧水生誕140年ということで、県内外はもちろん、市民の皆さんや市内の子どもたちにも、若山牧水先生や短歌の魅力について、より多くの人に知ってもらおう機会となればいいなと願っている。

2/20 日向圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会に出席。現在の共生ビジョンが令和6年度までとなっていることから、令和7年度から令和11年度までの新たな共生ビジョンの策定に伴い、協議を行った。圏域の人口は当初の想定よりも減少が進んでおり、各取り組みについても、中々目標値に近づけない状況も見受けられた。ただ、移住者支援などについては、目標値を大きく上回るなど、一定の成果も見られた。具体的な事業については、教育関連で、キャリア教育推進事業や地域人材活用事業などが継続して行

われることが示された。また、児童生徒の体験交流教育促進事業という、市町村間での児童生徒の交流や、派遣の受け入れによって体験活動を行う事業については、ここ通年実施されていなかったが、地域への愛着や誇りを子どもたちにもってほしいという願いから、実施に向けて検討されているということだった。

【児玉委員】

1/24 子どもの夢実現サポート事業発表会に出席。活動報告をした財光寺中の生徒の「子どもの夢実現サポート事業の応募用紙が、勇気を与えてくれた一枚のプリントだ。」という言葉が印象に残っている。生涯学習課の方々に感謝の気持ちでいっぱいである。教育長の講評は、毎回のことながら、今回も馬のこと、病院勤務の薬剤師のこと、野球のトレーニングのこと、どれも本当に職業にしているかのように詳しく調べてお話されているので、すごく感心した。その話を発表者の子どもたちも大きく頷きながら、一生懸命聞いていた。

1/30 第29回若山牧水賞授賞式に出席。初めて出席したが、坪谷小学校の子どもたちの牧水の朗詠が会場いっぱいに響いてとても感動した。受賞された大辻さんは、「牧水の歌は、言葉にストレスがない。」と言い、高山さんは、「短歌のリズムが大好きだ」と言っていたことから、若山牧水先生の歌をととても愛していることが伝わってきた。トークイベントでは、私自身も短歌に触れてみたくなるような内容だった。

活動報告ではないが、日知屋小学校の信号のない横断歩道のところに犬の散歩をしている男性が一人立っていることに、私の前の車の方が気づいて、車を停止させた。その男性は、横断歩道を渡る前に一礼、渡りきって一礼、発進した後に一礼をしていた。こんなにも礼儀正しい方もいるんだと、見ていて気持ちがよかった。

【垣内委員】

1/24 子どもの夢実現サポート事業発表会に担当課として出席。過去最多の45名が応募されて、最終選考は8名にまで絞られた後、最終的に3名が選ばれた。その3名の発表は、とても落ち着いていた。今回の経験が、さらなる自信に繋がったからこそだと思うが、子どもの夢に実現が加わったことで、参加していただいた方と夢と実現を共有できたのではないかと思った。中学生の3名は、日帰りがあったり、1泊したり、長い方は4泊という体験日数だった。応募から発表に至るまで、担当の生涯学習課の方々が大変苦勞されて、この事業が達成できていることを紹介させていただきたい。3名それぞれの発表に対して、さらに夢が広がるような講評を教育長からいただき、大変ありがたく思っている。

1/30 第29回若山牧水賞授賞式に出席。本年度は、例年と異なり、5年ぶりに2名の方が受賞された。それにより、例年にも増して盛大な授賞式だったのではないかと思います。

っている。ただ短歌を読んだだけではわからない短歌の裏にあるものや作者の背景にある支柱となるものを感じることができた。それぞれの方の奥深さというものを勉強させてもらった。トークイベントの中で、「若山牧水は文字とセットで見て欲しい」という言葉があった。「なるほど」と思いながら、私も今後そうしたいと思った。授賞式の最初に、坪谷小学校の児童8名による牧水の歌の斉唱があった。毎回見ているが、落ち着いた声と声量、堂々とした姿勢など、ますます磨きがかかっていて、立派な発表だった。この発表が一番盛り上がり、高揚感に包まれたと思った。本年度は、若山牧水先生の生誕140周年になることから、牧水先生の母校である坪谷小学校頑張れという気持ちになった。

2/23 シンポジウムなどを通して不登校について考える集い（みんなで考えよう、不登校について）に参加。民間の方から報告が2人、それから行政からは、県の教育研修センター内にある県教育支援センターのCONNECTの現状や活動報告を聞くことができた。シンポジウムでは、保護者代表の方、市の教育支援センターひまわりラウンジの2名の先生方、富島高校の先生、そして不登校の経験をされた方の話があり、細かいところまで話を聞くことができた。不登校の原因は様々だが、やはり子どもの居場所を作ってあげることが、より大切であることを感じた。また、学校に行かないのではなく、学校に行けないという認識など新たに勉強させてもらった。

【是澤委員】

1/24 子どもの夢実現サポート事業発表会に出席。子どもの夢実現サポート事業の発表者の3名の生徒たちが本当に素晴らしい発表をしていた。発表後にそれぞれ3名に声を掛けて、今後について少しお話をさせてもらった。今回、本当に応募者が多いということで、全体的に良い状況になったのではないかと思った。特に財光寺中学校からは22名の応募があり、2名が採用された。キャリア教育の入り口として、自分の将来にしっかり向き合ってもらって、この事業でこういうことをしたいという部分を膨らませていただいて、子どもの夢実現サポート事業の皆さんに生徒さんが繋がっていけばいいのではないかと思った。また、そういった機会をどのように増やしていけるのかということを経験者の方と考える必要はないかと思った。

1/30 第29回若山牧水賞授賞式・祝賀会に参加。今回は、大辻さんと高山さんの2名が受賞された。素晴らしいボリュームで非常に聞き応えのあるトークイベントだった。中でも、高山さんの著書である『Mother』という歌集について話された。高山さんが認知症を患う母の介護をする中で、教えてもらったことや、生活する中で可愛らしいと感じる仕草など、日々の生活を前向きな気持ちにさせてくれるということで、素晴らしい歌や歌集ができたのではないかと思った。先日行われた青の國若山牧水短歌大会も父母の介護を詠んだ歌が多く、前向きで明るく、楽しいと歌で詠んでいる。現実や実情を反

映したものが、今後ますます多くなってくるのではないかと思った。また、詠み手が前向きな気持ちや明るい気持ちでいてくれたら、介護に関する明るい歌が増えていくのではないかと思った。

2/23 シンポジウムなどを通して不登校について考える集い（みんなで考えよう、不登校について）に参加。私自身、不登校に関して知らないことが多く、今回のお話を聞かせてもらった中で、考え方がだいぶ変わり、もっと自分なりに勉強して考えを新たにしていきたいと思った。私のような昭和生まれの旧態依然とした考え方をもっている人間は、子どもの時期に社会や学校、家庭の中で「こうあるべきだ」という固定観念を刷り込まれているので、「こうしなきゃいけない」と思いながら生活していた。しかし、現在の子どもは自分なりの主張や考えをしっかりと述べるができることから、不登校というものは、子どもの成長段階だということを深く認識させていただいた。他にも、親の幸せと子どもの幸せの形は違うといった話を聞かせていただいた。こういったことを自分の中で、どのように消化していけるのかということ踏まえ、しっかり勉強していきたいと思った。

4 議事

- 報告第1号 日向市通学区域審議会委員の委嘱・任命について
(若杉学校教育課長が資料に沿って説明)

【今村教育長】

この報告について何か質問はないか。(質問なし)

- 議案第4号 日向市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例の原案
(児玉学校給食センター所長が資料に沿って説明)

【今村教育長】

何か質問はないか。(質問なし)

では、この件について承認するということよろしいか。(異議なし)

- 議案第5号 美々津公民館を仮に設置する期間を定める規則の一部を改正する規則
(鍋島生涯学習課長が資料に沿って説明)

【今村教育長】

何か質問はないか。(質問なし)

では、この件について承認するということよろしいか。(異議なし)

●議案第 6 号 令和 6 年度日向市一般会計補正予算（第 9 号）の原案

（大平教育総務課長、若杉学校教育課長、星野スポーツ・文化振興課長が資料に沿って説明）

【今村教育長】

何か質問はないか。

【是澤委員】

小学校、中学校の空調設備整備事業の件で、小学校が 13 件、中学校が 7 件とある中で、中学校は家庭科室などがあることを含めて考えても、補正額に大きな差がないが、何か要因があるのか。

【大平教育総務課長】

教室については、小学校が 24 教室、中学校については 22 教室ということで、教室数で見ると、小学校の方が若干多くなっている。

●議案第 7 号 令和 7 年度日向市一般会計予算の原案

（堀田教育部長が資料に沿って説明）

【今村教育長】

何か質問はないか。

【垣内委員】

ICT 整備事業のタブレットの購入は毎年ではなく、5 年に 1 回という話だったか。

【若杉学校教育課長】

現在、小中学校のタブレット端末については、5 年間の耐用年数がある機器を購入しており、その機器が更新時期を迎えるので、令和 7 年度に中学校のタブレット端末、令和 8 年度に小学校のタブレット端末の購入をする予定である。前回導入したときは、小中学校同時に購入したが、タブレット端末は引き続き利用できる状況にあるので、段階的に整備することにした。機器もリースではなく、一括購入して更新する予算を計上している。

【是澤委員】

電子図書館サービス導入事業について、使用料及び賃借料として 200 万円を払うとどれくらいの本を取り扱うことができるのか。

【海野図書館長】

この使用料及び賃借料の中には、システムのクラウド利用料というものも含まれ、それ以外が書籍分となるが、タイプによって異なるので、一概に何冊と表現することが難しい。たとえば、児童書読み放題パック 12 か月分の提供の場合だと、作品 100 点の場合、50 万円相当がかかる。

【是澤委員】

ICT のタブレットの説明の中に 3 分の 2 くらいの機器の数量ということ話をされているが、3 分の 1 は既存の物を使用するという考え方でいいのか。

【若杉学校教育課長】

タブレット端末 1 台あたり、5 万 5 千円に補助基準が設定されており、その 3 分の 2 を国が補助し、残り 3 分の 1 を市が負担することになっている。しかし実際は、補助対象外の教育支援ソフトなどを入れており、1 台あたりの単価が膨らむため、国の補助としては、購入予算額 1 億 2700 万円に対しての 2 分の 1 程度になる。

5 各課事業報告

【大平教育総務課長】

3/2 おひなさんまつり 10 時～15 時 （場所 美々津伝建地区）

【若杉学校教育課長】

2/27 校長会

3/4～3/5 宮崎県立高等学校入試（3/18 合格発表）

3/16 市内中学校卒業式

3/25 市内小学校卒業式

3/26 市内小中学校 3 学期終業式

3/28 日向市小中学校管理職等辞令交付式

3/31～4/11 いのちの大切さを考える週間

4/8 1 学期始業式

4/9 市内中学校入学式

4/11 市内小学校入学式

4/17 全国学力・学習状況調査（小6・中3）

【星野スポーツ・文化振興課長】

2/26 大王谷スポーツ少年団表敬訪問

3/9 第31回日向ひょっこマラソン IN 日向岬 8:30 開会 9:15 開始
（場所 サンドーム日向～日向岬一帯）

今年がファイナルとなるが、去年の1.5倍の1430名ほどの申込みがあった。また、特別ゲストに日向坂46を卒業された加藤史帆さんに来てもらう予定である。

【鍋島生涯学習課長】

3/10 美々津公民館での業務再開予定

3/21 放課後子ども教室受託審査会

4/1～4/7 放課後子ども教室保護者説明会 19:00～ ※平日のみ
（平岩・魚っ子・東郷・美々津・しおみっ子）

【海野図書館長】

2/15～3/20 LINE 限定第1回ひょっこ読書マラソン（市立図書館公式LINE上）

2/28 財光寺小2年生まち探検

3/9 図書館シネマ「ゆずり葉の頃」上映&映画談義（場所 市立図書館）

3/13 館内おはなし会（乳幼児向け）

3/15 ビブリオバトル（場所 市立図書館）

3/22 館内おはなし会（小学生向け）

3/27 夜間開館延長、レコード鑑賞会

5/11 春のとしょかんまつり（場所 市立図書館）

「ひだまり図書館号のおうた」の制作

移動図書館の移動のときに流す音楽を図書館の職員とスタッフで作成した。

【児玉学校給食センター所長】

2/28 防災食を活用した交流給食学習会

寺迫小学校で5年生、6年生の21名を対象に行う。市が備蓄している防災食を活用した料理を市内に提供する。市の防災推進課から、防災講話をしてもらった後に、学校給食を通して、児童が防災への理解を深めたり、食材を無駄にしないSDGsの取り組みに繋がるように開催するものである。当日の献立は、防災食であるアルファ化米のわかめご飯と青菜ご飯を使用したビーフン飯である。

3/7～3/19 富高小、塩見小、坪谷小の6年生が家庭科の授業で考えた献立が給食に登場

富高小の献立 Aコース：3月6日 Bコース：3月7日

坪谷小の献立 Aコース：3月13日 Bコース：3月14日

塩見小の献立 Aコース：3月18日 Bコース：3月19日

【今村教育長】

何か質問はないか

【児玉委員】

第31回日向ひょっとこマラソン大会が終わるとのことだが、その代わりになるような事業は考えているのか。

【星野スポーツ・文化振興課長】

今年から老若男女問わず、市民が参加できる体力測定会というイベントを開催した。来年度も継続しようと思っている。

また、国スポ・障スポに向けて体育館が整備されているので、体育館等を活用した事業を考えていきたい。

6 その他

(1) 3月の臨時教育委員会の日程について

令和7年3月14日（金）15時30分～

(2) 3月の定例教育委員会の日程について

令和7年3月19日（水）13時30分～

(3) 日向市小・中学校辞令交付式

令和7年3月28日（金）10時00分～11時00分

会場：日向市役所4階 委員会室

(4) 卒業式の出席者について

(5) その他

7 閉会 (14 時 30 分)
